



市民の力で政治を変えたい



北本市政の最大の課題はなんですか？

Q 人口減少ですか？消滅都市と言われたが…

⇒はい、それは重大な課題です。自治体経営の基礎ですから…しかし、それではありません。

Q 税収減収と歳出増加による財政問題ですか？

⇒はい、それもあります。税収は今後大きく減収する予測です。しかしそれでもありません。

Q 超高齢社会による社会保障費の問題ですか？

⇒はい、これは深刻です。しかし、これは必然性のある課題です。それも違います。

Q 公共施設の統廃合や長期間にわたる事業の先送りですか？

⇒はい、先送りできない重要な課題です。改善しなければなりません…少し違います。

Q うーん、では何でしょうか…？

⇒はい。市政のダイナミズムの失墜と深刻な政治不信です。この改善が喫緊且つ最大の課題です。したがって、リーダー（市政トップ）の明確なビジョンとガバナンス（統治能力）の確立です。市長選挙の唯一無二の争点です。

現王園市得意の手のひら返し「新駅建設推進」へ

女性副市長・給食費無料化の公約反故、強烈に反対した新駅は推進。何が起きているのか

私たちは、現王園市長と市政運営に、市民目線の立場で真剣に議論し、そこから見えたのは、北本市政のダイナミズムの失墜です。4年前に市長が変わりました。「市政一新」で次の展望を期待しました。しかし実体は「市政経営力（マネジメント力）」と統治能力（ガバナンス）が欠落し、混迷・停滞でダイナミズムの失墜が明らかです。

さらに、明快な長期ビジョンがなく、意思決定や合意形成の過程が不明瞭です。このような状況は、市民の政治への期待感を低下させ、「政治不信」が広がり、「政治への不満」が顕在化しています。特に、若い人たちと話す時、政治不信から「あきらめ感」が広がっている印象を強くしています。

北本市は、人口減少が続いています。特に若い人口が減少しています。このことと、若い人の政治不信（あきらめ感）に何らかの関係性があるとすれば、私たちが市の政治に係るものの責任は重いと云えます。

市民のみなさん、政治のダイナミズムを生み出す。政治の信頼を取り戻す。これが北本市の最大の政治課題です。

市長新駅推進へ変節の極

出馬表明した現市長ですが、本当にこの人でいいのかと思っています。議

員時代の選挙公報で「財政のプロ」を標榜し、市長選挙では「市政一新（一新：すべての物を新しくすること）」を掲げ、公約の「副市長に女性を登用」、「新駅問題に終止符を打つ」、「中学生の給食費無料」には、有権者は大いなる期待を持たれたと思います。

しかし結果は、公約無視の無残なものでした。

女性副市長は、もともと当てのないう「空公約」。給食費無料は、財政のポートと言いなながら、財源の裏付けのない「ただ言っただけ」。選挙のためとはいえ、ひどい話です。

新駅に終止符は、ここにきて現市長は、連日連夜新駅運動を30年続けている議員に、「私が間違っていた。新駅は推進する」を条件に、選挙の協力を求めてきたと言っています。終止符どころか推進です。またまた選挙のため！ 皆さんどう思われますか。

現王園市長は、北本市政で初めて議会から「問責決議」を受けています。全会一致で不名誉なことです。また、議会で、まともな議論ができない市長です。言語不明瞭・意味不明。主語と述語と結語がバラバラですから、議論になりません。政治は言論です。

こういう人を、この先も市のトップに……びますか…我々はNGです。